



米獨斷交後の形勢

食糧軍需禁輸提議

米陸海軍使用權要求

米大使與國政府に迫る

支獨斷交と駐獨公使館

獨逸金寶寄贈要請

獨逸婦人傳令使用

滿洲御慰問使

地方官異動

男爵議員運動

朝鮮無煙煙株

日支銀行行務

支那政府唱道

大倉氏安東

總督艦員招待

千歳仁川入港

後藤内相轉地

醫師立候補

初選選挙違反者

神宮献金整理

法院新出張所

土地事務取扱

露國小包差出注意

大田理事任命

朝鮮に於ける經營事業

金堤の警備

元山

光州

金澤博士入京

大阪より

海上保險低落

銀塊高の前途

三井

元山

光州

大田

光州

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

支獨斷交と貿易

第六十六席

田邊南龍口演

小澤七郎右衛門は傳七之助に遇つてあつてはならぬと心附きました故、當時當所を立退して江戸三番町の旗本水野内記は縁家であるから此のうへ落さずといふ由を申し附けたら七之助は妻のおゆりに別を告げ一兩日以内に發尼したすこになりました、此方は加治木源右衛門此の事を聞いてそれまでにて七之助を請装して慾みを贈さうと思ひまして、豫て想ひをいれた山中六右衛門を呼んで相談をするると六右衛門は顔のおつきが殿の愛媛に

このあらうとは神なれぬ身の夢にも知らず、父より申し受けたる手紙を懷中爲し妻のおゆりに萬事無事のことで申しつけて出たが、流石には夫婦の情愛が妻のおゆりは門口まで送り出し夫の後、妻の見えなくなつるまで見送り居りました、七之助は戻り内を出立是を早めて來かゝつた松並木を立出足をつけて間の無い様に入通ひもまだ夜が明けません、恰度並木の

中はまで参りますと、向ふの庚申堂の内に隠れて居つた山中六右衛門



毛皮なめし並立
鳥獸製靴調進販賣毛類高價買入れ
鳥獸毛皮 東京本町二丁目
鳥獸製靴標本
樽元商行
電話三〇六五
郵便掛號二四九九

中央にあん物を作てて披り出して

誰が見てても人知の様であるが世に

能く知へたものぞいな。往來する

中央の前仕れに居る者は」左衛門

中堂の

於て話して居る。○何でせう。

破内を出て城下外れの松並木まで登るこ、向ふより來た三人が何か話さ

置くといふは何の眞似でせう。兩人は是を聞いて 源「コレ一町人」
様達の語はに何に。○「ヘエ、旦那様の先の松並木の庚戌堂の前の處に大きな落人形を作へてそれに衣類を破せ投り出してございますが、何の爲にあんなことをしたのか知りませんが馬鹿氣だ眞似をするもので」六個に落人形が棄てある。○「大抵立つ雛人形大賣出し」

て見て居りますから早く行つて御覽なさいし、と町人共は向ふへ行てしまふ。源右衛門は「源何であらう御身が正しく射止めたさあらばは之の死骸が無ければならんが、源が射止めたのでござるか」六蔵に「源止めましてござるか」何につたせぬ形が棄てあると申すは附し、さ早く參つて候て見やう」と二人はいで床前堂へ參りました。

[illegible]

京成學校組合告示第壹號
 人兒童ニシテ明治四十四年四月二
 ヲリ者同十四年四月二日マテ出
 ヲ始知ニ送ルニテヨリ右學障兒童
 醫者ノ所定ノ入學書ヲ右籍本若
 抄本ヲ添ヘ來ルニテ二月二十八日限り
 城府學科係ハシテ京成府龍山出張所
 提出ス
 大正六年一月十日
 朝鮮總督府前井 金谷

通信教授



東京市本郷區眞砂町 陽新堂

品質が評判の質行も
一量より
あらが染君が代
何が故に一番よいか？

赤毛の君の代

△染毛を染むに用ゐる染料
△染毛を染むに用ゐる染料
△染毛を染むに用ゐる染料

「使用力」一層便利なれば
是非一度御試みを願ふ
本品は至る處の有名な
店化粧品店にあり

「好評ある別製君
が代」は液体にして

大正七年四月廿六日
開設代理店伊藤朝日商店
東京市浅草區蔵前片町
本舖 山吉商店
御寄葉集 一九三二

定價
特製大瓶 四十八圓
小瓶 二十五圓
小瓶 十五圓

月やく なきにお困りの方は
 會あれ妙藥知らす 券參錢封入左記に御照
 京城黄金町三丁目 山田しづら

天

三木 重良
三木 重良の配役
三木 重良の配役
三木 重良の配役
三木 重良の配役

男 國 國 國
 流行性 痘 瘡
 効 力 著 効 顯 著
 一 一 一 一 一 一
 十 五 十 五 十 五
 本 總 大 販 丹 商 會
 賣 進 全 國 各 藥 店 均
 有 代 理

丸

アドア



眼科大醫にして高峰博士發見の
アドリナリンを點眼科に處方
せざるものなし
アドラは一流大家の點眼科
と等しきアドリナリン配合
の眼病神藥なり

定價 大瓶金貳拾五錢 小瓶金拾錢
市内及全國有名藥舖にて販賣す

東京室町 泰昌製藥株式會社

小內
兒科

京城日出小學校前
多々
見醫院
電話九四〇番

入院隨意

電話一三七番
振興口座四三五番


發賣元

前田酒店

京城本町二丁目

攝津灘

大塚醸造所吟製



名譽ある白色顔水は顔に
用いたる
桃谷研究試験部
顧問 山本雪亭博士
顧問 小島雪亭博士
顧問 小島雪亭博士
顧問 小島雪亭博士

白く美しくが顔水

御化粧上手の婦人

▲此頃の婦人方

は一般にお化粧が上手で大抵は極く自然な、地からの色のやうな、極めて感じのよい美しいお化粧をして居られますが併し中には未だ相變らず舊式の不完全なお化粧をして居られる方がありますのは美容上、衛生上、誠に遺憾な事でありませう。

▲舊式のお化粧

です。一旦白粉を附けて洗落して復た附ける。いふ様な無駄な行為ながら、平色の白くない方は白粉が、さす黒く見ゆる。附ければ白ベキの端になり、薄くすればムラになつたり見苦しい色になつたりするばかりで、ほんまに美しいお化粧が出来ませんので、何もお化粧といふと大變な苦勞をなさるのですが、でも、附けよう方でも一應

▲専門學者の手

で創製されて、今非常な人気になつてゐる白色顔水でお化粧して御覧なさいまし。それこそ皮膚にも上品な、ムラ等の無い、生れつき色の白い様な、何とも言へぬ美しいお化粧が出来、それが亦頗る勞なく氣持よく出来るのです。此頃の

▲お化粧上手と

言はれる方々は皆この白色顔水をお用ひになるのである様にお化粧が出来るので、白色顔水は日本唯一の化粧品研究所たる桃谷研究試験部の博士三博士の研究で創製されたもので、普通の水白粉のやうに水と白粉を混ぜた様なものでは無く

▲新に發見した

從來の化粧品に使はれた事の無い、美容上の効果の最も強い美容素。数種の貴重な原料を含む美容液を以て、或特種の白粉を溶解して製したものでありますから、薄化粧料と美容料との作用を完全に兼ねて、少しも感ぜられなく、活々とした光澤、生れつきのやうな色、誠に氣品のあるほんまに美しいお化粧が出来ると共に、附けて使へば次第に皮膚まで美しくなる作用のある、眞に完全な新しい薄化粧料なのです。ですから此品は同じく桃谷製の美顔白粉、美顔クリーム、美顔水と共に

▲各宮家御用品

として登き方々の御間にも御費用を賜つて居ります。今東京で高貴方の御信用の厚い美容術大家マリルウネズ嬢が此品を高貴方に推薦せられたのも、嚴密な御試験の結果、是等の効果を認められたからで、今や白色顔水の人氣は益々高く日本一の薄化粧料として、何處へ行ても

▲第一位の賣行

を示してゐます。此頃の婦人方では此品を御存知な方は御座いますまいが、若し未だお用ひのなき方は、今の中早くお試しになつて、學者の發見がされ程完全なものであるか御實験なさいまし。お化粧が何うとも思ふやうに行かぬなさい。御試きは各町の薬にお志になつて終ひます。

定價 一瓶 金二十圓

● 黄海の吹雪を衝いて

日曜に、外海航返ひ二月二十四日
第一回、旅航日開、船掩護三月二十七日
第二回、旅航日開、船掩護四月三日
第三回、旅航日開、船掩護四月二十三日
マカロニ艦隊誘出六月二十三日、旅航
港外への海戦八月十日、黃海への海戦八月
二十日イウリ統製沈没三十八年五月廿
七八日日本海大海軍等に参加し殊勲
を顯はしたる名譽の軍艦なり（仁川）

◆ 服裝及び容儀（合）か 亂れ
るのを心配したり將た體育を盛んに
するを要す

（を驅はしたる名譽の軍艦なり（仁川

操の權威杉本少佐く
あるが要するに世界文明國中日本の
婦人の體育が最も

◆閉却されて居るから
で死亡平均年齢の如きも明治十九年
生れから廿八年生迄の者が卅六歳廿
九年から三十八年生迄の者が卅四

なるのであるが、更に女子の月経時
に體操を課せらるゝ苦痛が體育を怠
み嫌ふ最大原因であると言ふ事を忘
れてはならぬ此場合妙齡の處女であ
るを月經であるから體操を休めさせ
て下さいと言ふ事はどうしても言は
れず又此れが爲めに

生れから廿八年生迄の者が卅六
九ひん年から三十八年生のひんれ迄の者が卅

が三十二年云ふ短命で人生五十年は昔の夢となつて今後は人生僅か三十二年と言ふ文句に改正しなければならぬ時代もなつた。此の死亡の原因を脱べると肺結核が六分六厘、肺血が七分一厘。

腸膜炎が六分九厘

間の處置に苦しむであらうが爰は何んとか宜い方法を講ぜられたならば日本婦人の體育觀念を向上せしめ得る事と思ふ又運動をする結果曲線美が醜惡になつたと言ふが如きは根柢の無い謂は無智の教へて反つて之れが爲めに曲線美を理想的に發揮する事が出来るのであるから體育に從事

米國、佛國、
腦膜炎が六分九厘

の多し近頃は學費に於ける特
出案。近頃は學費に於ける特
果男子は勿論女子の體育は稍や向上
して來た様であるが然し未だ幼稚體
まる上に家庭に於ける體育が全然欠
却されて居るは嘆かしいに至りて
ある殊に女子の死に終結頻期に於て
多し原風を發する今日の
一般女子の有する誤れる體育觀念を
一掃して眞に體育の必要なる事を知
悉せしめねばならぬと思ふ要するに
體育から見た日本は零で眞に卑かし
い状態にあるから今後教育に従事す
る人は勿論一般國民は熱心に體育を
奨勵して體育をして日常のパンと司

ある殊に女子の死亡率結婚期に於
多い、原因を研究すると日本の



●草薙鎌で
妻を殺して自殺

平安南道徳川郡蓋面浦茅里農張鳳
品(三)は昨年十月頃當時十三歳なる
李小姐なるものを妻に貰受けたるも
李小姐は未だ年少にして家庭の樂み

に於て朝鮮式銳利なる草薙鐮にて妻
李小姐の胸面並背部合計十五箇所の
重傷を負はせ絶命したるを見送し
て自身も同じ鐮にて上腹部に二箇所
突き立て自殺を圖りたるを近隣の者
が駆けつけ斯くも徳川分隊に急報した
れば同所より園田分隊長は憲兵總隊

ける各貯金は近年非常な

十三日の未明金浦文島を出帆し、
 寶鏡島船泊島丸が間無く清魂の
 靈符を唱らしつゝ、引き返したの
 内の大騒ぎとなりたるが取調べ
 同島民渡路生れの田中芳太郎三
 船中にて自殺したる事判明した
 引きて、翌日たる廿二日(廿二)にて、
 船中にて自殺したる事判明した
 引きて、翌日たる廿二日(廿二)にて、
 船中にて自殺したる事判明した

驅く
逐お
盤ばん
利り
雨あめ

船は惜しくも無いが死んだ船員が全く可愛さうだ

死しん

飛賊が生んで日本銀貨金中の大
 金三郎氏、白き銀貨の昌洋行に
 誰の如くフツクリ包んで夫人
 五十六歳の令嬢に徳々四五名
 主公安内の腰掛けでフンザリ反

五六歳の令嬢並に従者四五

有福さうな高笑ひ
 櫻橋の橋たがハシ 附近、橋たが青
 で沈んだ、右に付語る「橋たが青」
 の裏に神月の永田氏から二十
 年、東京の新聞に「口を舌か」
 て弱りますよ。
 口語けたさ云つても

の暮れに神戸の永田氏から二上

船が二十萬里をこらした私の
高を澤山持つてゐると（悲
の聲色）一艫や二艫、船を失く
るのは常り前ですよ、ナニと
言ふに、アハ、と、先日にも
言ふなを、船艫の人の案内で觀たが、

君國の道路修理工事に従事中

○前二時頃、ある登山客が、村木商店に忍入り、同家の長男鐵夫を殺し、鍵を盗み金庫より金を奪ひ去る。鐵夫は其後捕らへられ、山に降伏して逃走した後彼ならぬ抵償強盜被告長崎縣西波什郡柳井村生れ元寇狹村木店員岩永巳之助と見出され、十日釜山地方法院にて

○當世百道樂典内新集
●梨園の學程及實際全圖 三冊
●製曲の學程及實際全圖 三冊
●安邦歌曲全集 十冊 天寶二
●小學校音樂教科書上巻九冊
●小學校音樂教科書下巻九冊
●音樂運動規程の奇觀秘傳

○出道の新研究 齋藤 梨山

二は去る二十日釜山地方法院

戎克船漫著　去る十七日金
 津草島牛耳町小耳島の海岸に支那の運搬船一隻、
 積荷を載せるものとして、船中に支那人約數十人を留置し居たが、乗組員の中には支那人一名の死體ありしが、

○日蓮聖人の奉送　水鏡
 大市・南生堂編輯　日前有通二
 京ある處に神あり加藤一子譯
 長谷川季子・家庭片断
 最新洋子のチャリヲトキ非難大層

支那人一名の死體あり

過失罪で六年 新義州本町
加商會、自動車の運轉手鄭煥、
が昨年十二月三十一日新義州上
義州に向ふ途中水門浦の水に墜
るゝり十八尺餘の水に墜るゝり自
ら溺死した。遺體は同浦に浮

大阪屋號
大阪府大阪市東區東區
一丁目一番地（元合源堂）電話五十五十

ある橋上より十八尺餘の氷上

農具肥料

農事獎勵富川支會總會 京畿

[illegible]

後散會したるが却々の盛會な

[illegible]

夏來る 女流浪節の極

●並に販賣●修繕●部分販賣●
中古・ジャン・買
 京成電鉄 南品川店

裾野上演 大正都にては

倫敦の短電に、舞臺界が反佛運動を見るべしとの
 警告がある。英京の新聞は、昨日本朝、
 演劇界の代表者を集めて開き、フランスの演劇家
 の名をあげて、彼等の主義を攻撃する。その時
 には、演劇界の代表者は、フランスの演劇家を
 攻撃する。その時、演劇界の代表者は、フランス
 の演劇家を攻撃する。その時、演劇界の代表者
 は、フランスの演劇家を攻撃する。その時、演
 劇界の代表者は、フランスの演劇家を攻撃す

社會主義者の慘殺無根

新六十五回傑作現物賣出し

女中入用但バギー
 南大四三電番二五七一番
カフェタイガ

朝鮮公論社
 坂元分拆
 左横小路

歐洲戰爭記念
新荷着 御披露

戰乱中佛國に於て製造されたる流金四方厚硝子八日方

定價
十六圓五十錢

目醒付置時計

高サ三寸五分 幅二寸七分 横徑二寸二分 商標サシメ有



△地方御用交々代金銀等、包便に、御披露
△仕度、流金、厚硝子、八日方、四方、厚硝子、八日方、
△外に、流金、厚硝子、八日方、四方、厚硝子、八日方、
上條に、流金、厚硝子、八日方、四方、厚硝子、八日方、

城本町三丁目
村木時計舗支店
電話 四七二一
振替 京城三一九〇番

朝鮮總督府許可



人蔘直取引大販賣所
人蔘、エキス、滋養藥、菓餡製造本舗
朝鮮名産一切
京城本町一丁目
津村兄弟商會
電話 一四八二番
振替 京城三五二〇番

京城本町一丁目
津村兄弟商會
電話 一八七〇番

支店
龍山支店
山崎支店
支店

支店
支店
支店

ばいりんばい毒病合讀
支店
支店
支店

支店
支店
支店

支店
支店
支店

小林就月作 武内桂舟畫

[illegible]

い、お久は今までにない不真摯れ
を思ひ切つた調子で唼啼を切り出し
たのである。

○大田南畝詩句集
第二十五回例會
二月十七日於風骨庵

木 <small>の芽</small>	桃	南	陽	市	葉	緒	祝	亭	京	宵
萎女婆る樓閣納屋へ芽吹く楠 水車小屋白目立木・芽暗し 朝蘭木の芽背向物艶に雨零 稻荷道草茶屋目立木・芽哉 廢不足憂恨放つ木の芽哉 深山露・木芽若し・僧の笠 油畑・武藏兼・木芽・芽して 稻穂出た秋葉も・芽・む樹々 九冠鳥の日浴す・蘆・木芽哉 木芽・芽・小島呪へり紙鐵砲 鉢植の若芽好みに癖つて 仙貨の狸吠け居る木の芽哉 木の芽風眼を病む雛の親を 午後晴陽木芽・芽・鳥うたふ 移植の木を吹き永任に過さず 川移の木を吹き・雨時・はら	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

見ん後院の土井に種放散つづ・青柳
水の邊の諸君士の小説を讀み・佐藤中
其の造詣者士の興味深き・有益な・好評讀
を讀破りて天下の父兄諸君宜しく晩餐一杯
を減じ其子弟の功此良識を給へ
一百圓拂付大體眞意五百圓の奨励金六等
の一(十二條東京本館)送致下四八六
本館附

壬戌式部實典第五(五段時木處次第部
芝野戰・布石の二部分)・圖説に依
て詳細なる説明を附し刊行編輯の務めたる
者の明日なき國の神廟と名其の妙
に獨りたる奇蹟を記述するに就き
西七條東京市本橋區北町一〇大阪
西七條東京市本橋區北町一〇大阪

○藝文叢刊(二三) 道長官及法皇臣の要
する秘傳明宗と義経忠臣蔵の要
其他二冊朝鮮に寄る新編物語出版
共計十五卷(關東府警察本部)

少年三月號 續・軟弱士に當りて軍
少年にはよく勇猛なる精神を必收めり
の特點あるべきを論ぜり(談話) 新報
五條東京市本橋區上野三丁目新報
少女三月號 主として少女に對する
的而して發せざる各種事情を取り纏め
味あふ文章を著す(十二條東京市本橋區
北町一の二時新報社)

○藝文叢刊(二四) 十五條東京市東
區板町一〇關東府警察本部)
國杜新聞(六七) 八〇五條東京市下
國杜新聞・獅子王傳
生活力(六二) 一〇五條東京市本橋區本

白根將物備全日 意補好為對旨 國大十社題壽南 廣 各 役

正六 子交類 指 體情其 風 許 今 易 處 醫 入 子 何 本 傳 國 總 均 而 說 司 應

45-544

卷之六

○三ツ規那鐵葡萄酒



芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし
完全なる吸収性及同化性を併有せしめたる

規那、鐵葡萄酒は(健康)、神血、興泰、強壯等の敵病を舉ぐるものにして、殊に此の三者を合して、所謂患部鐵葡萄酒とし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且臨床に用ゐることを得て、何れも確實に消化吸収せられ、其の効價の愈増大することは既に公知の事實に屬す。此の點の疑念を不消ならんか將又其の品質不良なるか、然るに本品は歐米に於ける諸種の製品位最良の塊に就て調査研究を重ね、山梨鐵葡萄酒製造會社の天然葡萄酒を基礎とし、人造香料を用ひ、純良有精なる規那鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるのであるが故に、容易に吸收する感なく、規那、鐵及葡萄酒の健育、補血、興奮、強壯等總ての効病貧血より起る諸種疾患悉くに神經衰弱、ヒステリー、ヒポコン德里、產後及病後の衰弱、一般の弱等にて適用すべき無比の滋養的飲料たると同時に精神の困憊並身體の疲勞を回復し、元氣横溢精力増進を欲する場合に推奨すべき絶好の家庭必需品なり。

▼如斯人は滋養強壯料○ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲

一、一般に貧血をして居る人
一、營養の不足なる人
一、顔の色澤不明瞭の無い人
一、生來虛弱なる人
一、手足が冷たくて痒つかぬ人
一、是云ふ病は無くても何れも弱く或胃に罹易い人
一、身體の瘦削して居る人
一、產後及病後の衰弱を早く回復したい人

一、食事の進まぬ人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、精神や筋竹の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腹痛即ち難雜に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核その他慢性の病變にて發熱の永く續いて居る人

一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰接や遺精など生殖機能衰弱に悩んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に襲はれて居る人
一、ヒポコン德里人に對し心氣痛に苦んで居る人
一、委實病など血液の病に侵されて居る人

▲賣捌——全國到る處の洋酒食料品店。藥舖。雜貨店。▼
 ミツワ石鹼
 ミツワ家庭藥發賣元
 肝油ドロップス
 洋酒、食料品、煉乳、膏藥
 化粧品、雜貨、直輸入商
 東京市日本橋區橋町四丁
 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問
 丸見屋商店
 電話略號〇ミヤ……………振替口座東京七一〇〇
 營業部電話園田浪花三〇・四四八・四四九・四五〇
 大阪市東區高麗橋貳丁
 松下善四郎
 電話本局一八五〇一八六〇八二〇〇
 電信略號マツセ振替口座大阪一六

[illegible]